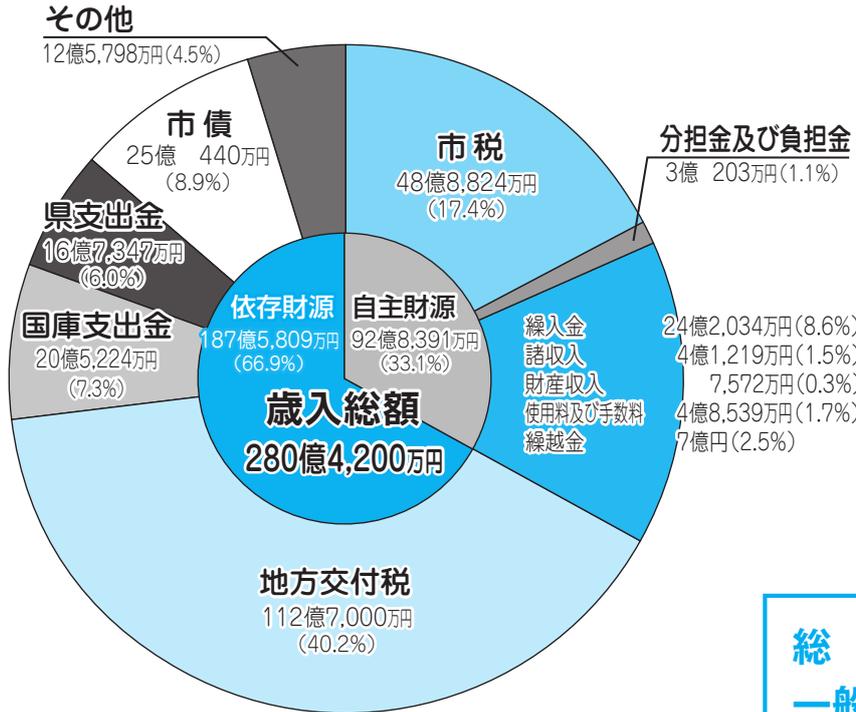


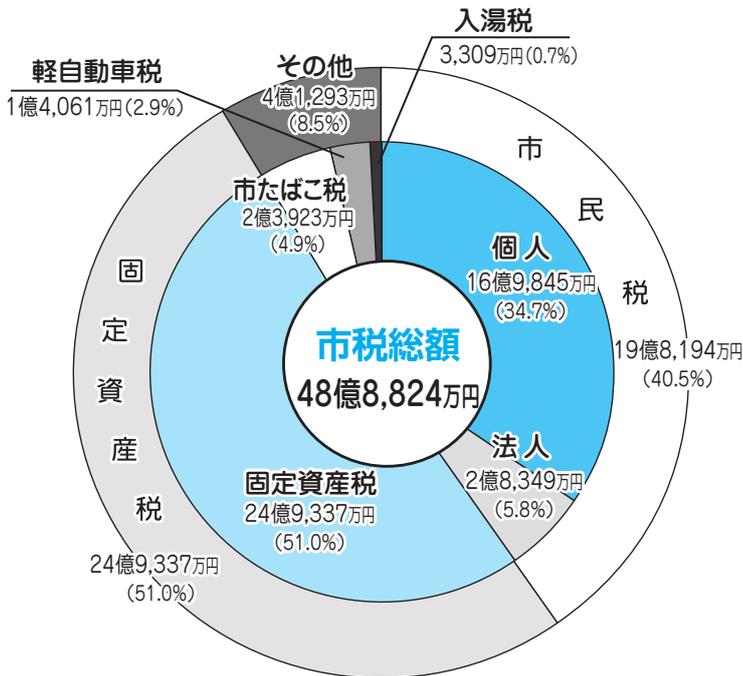
一般会計 歳入の内訳



平成31年度 当初予算

総額	491億1,873万円
一般会計	280億4,200万円
特別会計	138億3,586万円
企業会計	72億4,087万円

市税の内訳



予算編成7つの柱

- **産業・雇用**
地域資源を活かして産業を育てるまち
- **環境・防災・社会基盤**
美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち
- **健康・福祉**
支えあい助け合う安心のまち
- **教育・文化・人づくり**
香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち
- **自治・まちづくり**
市民と行政が協働でつくるまち
- **地域振興**
個性あふれる地域づくりを推進するまち
- **行財政運営**
健全な行財政運営を実行するまち

郡上市の平成31年度予算の総額は、約491億円。そのうち福祉、医療、教育や道路整備など、みなさんにとって基礎的な行政サービスをを行う一般会計は、約280億円で平成30年度の当初予算に比べ、0.5%の減となっています。

一般会計の歳入のうち、市税は48億8,824万円（前年度比0.3%減）、国庫支出金は、社会資本整備総合交付金（道路橋りょう事業）や建築物耐震化事業補助金の減などにより20億5,224万円（同0.9%減）、地方交付税は、普通交付税において合併算定代替措置が平成30年度で終了したことなどにより112億7,000万円（同0.1%減）を見込んでいます。市債は、合併特例債の終了などに伴い10億7,350万円減少し、25億4,400万円（同30.0%減）となっています。

また今年度は、企業誘致に関連する整備、吠高原スポーツ広場第1グラウンド人工芝生化、短歌の里交流館よぶこどり整備などのための財源として、公共施設整備基金から8億5,000万円、ケーブルテレビ伝送路等更新のための財源として、ケーブルテレビ整備基金から3億3,000万円、郡上カントリープロジェクト事業、「観光立市郡上」推進事業などの財源として地域振興基金から8,900万円、財源不足を補うために財政調整基金から10億8,300万円を繰り入れることとしています。

《用語解説》

市税…市民のみなさんから納めていただく市税や固定資産税など

繰越金…前年度から繰り越されたお金

繰入金…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などを取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金

分担金及び負担金…福祉事業や土木事業などに対する負担金
使用料及び手数料…住民票などの発行手数料や市営住宅の使用料など

市債…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）

地方交付税…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金

国、県支出金…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などに財源として交付されるお金

人件費…職員、議員などに支払われる給与や報酬など

公債費…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金

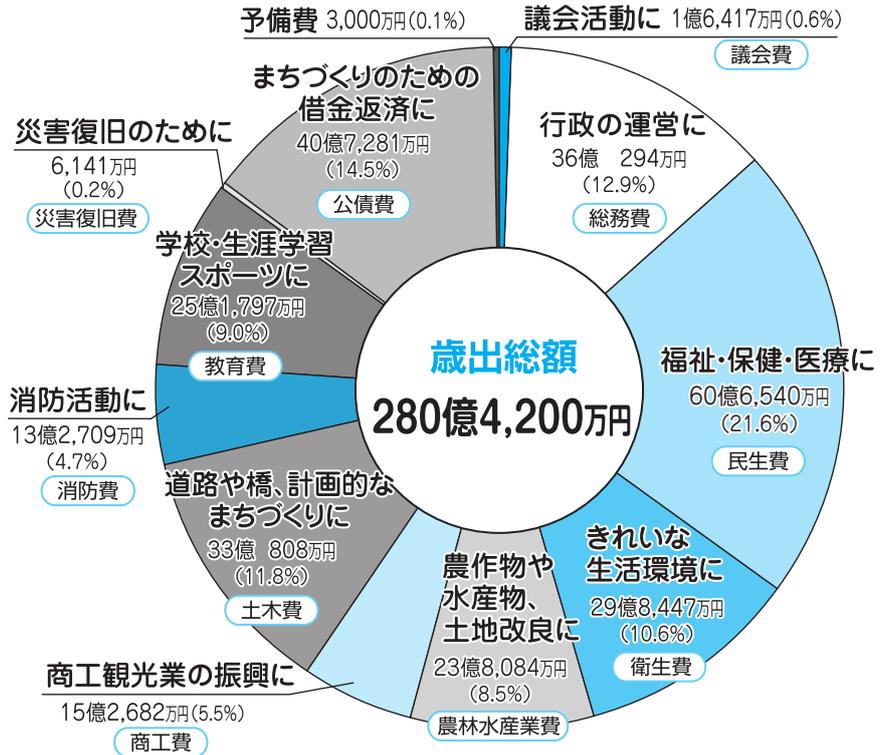
扶助費…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用

普通建設事業費…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用

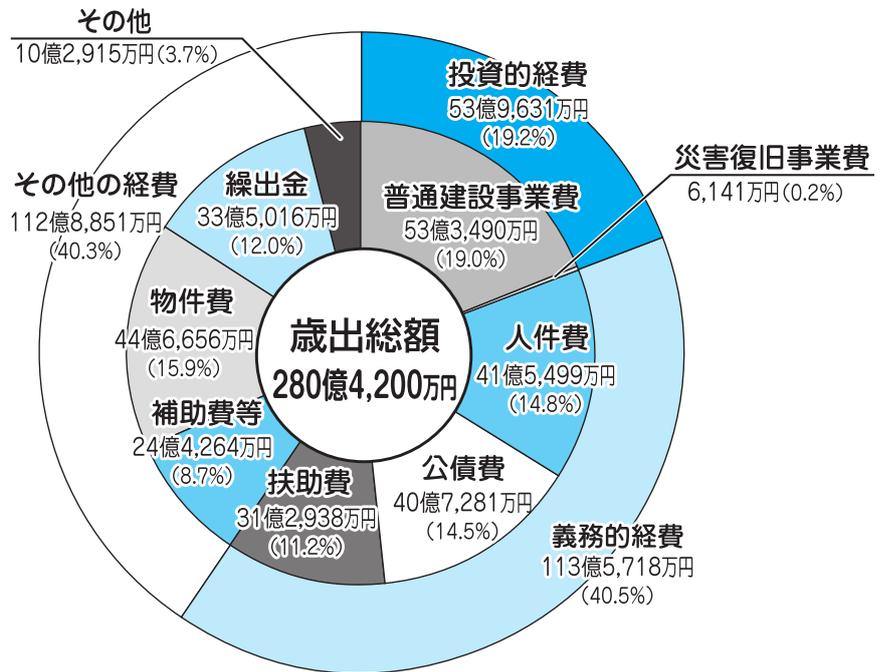
物件費…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需用費、備品の購入に充てられる費用

繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費

一般会計の主な使いみち



性質別の使いみち



市税収入などの自主財源は、92億8,391万円で全体の33.1%しかなく、地方交付税や国、県支出金などの依存財源の占める割合が大きなものとなっています。

歳出については、少子化対策や、高齢者などに対する福祉医療や保健に使われる民生費が60億6,540万円（同0.7%減）、道路整備など市民生活に密接する土木費が33億8,084万円（同9.5%減）と、大きな割合を占めています。

また、吠高原スポーツ広場第1グラウンド人工芝生花、企業誘致に関連する整備などの実施により、商工費は15億2,682万円（同30.8%増）と大幅に増加しました。その他、まちづくりの借金返済にあたる公債費は40億7,281万円（同5.2%減）となり、歳出全体の14.5%となっています。

性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費（同1.5%減）は40.5%と大きな割合を占め、普通建設事業などの投資的経費（同4.5%減）は、19.2%となっています。また、一般会計から特別会計へ支出される繰出金（同0.7%増）の割合は、12.0%となっています。

今後大変厳しい財政状況が続くと思われませんが、公共施設の見直しなどを進め、財政の健全化に取り組みながらも、安心して暮らすことができる活力ある郡上市づくりを進めて行く必要があります。

全会計における市債・公債費・市債残高の推移

(収入)

(支出)

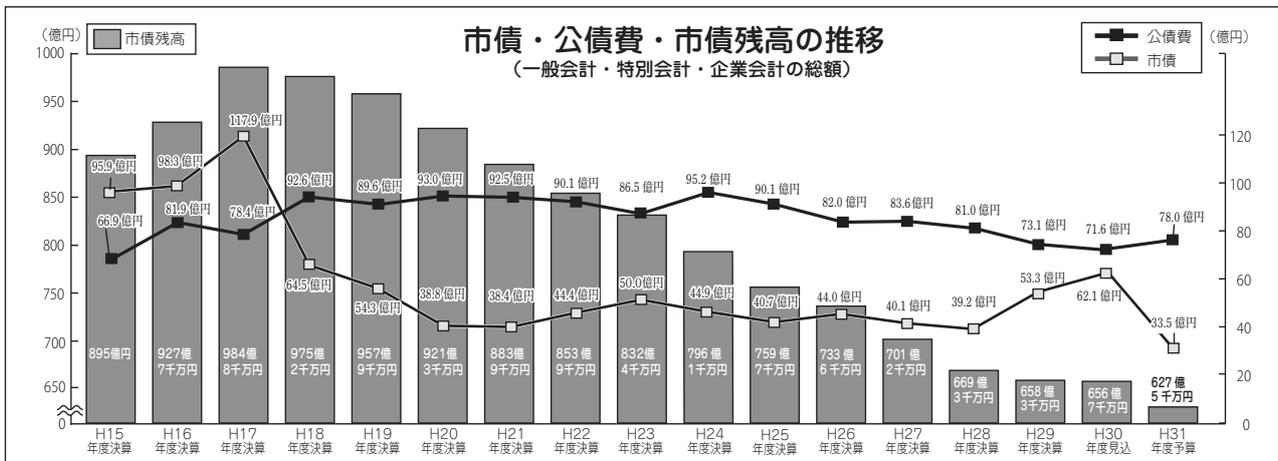
(ストック)

ここでは、市が道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（市債）、借り入れたお金の返済金（公債費）、借り入れ金の残高（市債残高）について、平成15年度末の合併時から平成31年度（予算）までの間に、どのように推移してきたのかを表とグラフを使って説明します。

▼市債（借入金）の推移…合併時の95億9千万円から比較すると、今年度の当初予算では半分以下の33億5千万円となっています。市の厳しい財政状況から、今後も計画的な借り入れによる財政運営を継続します。（平成16年度から平成17年度にかけて増えているのは、市民病院建設等により一時的に増加したものです。また、平成29年度は平成28年度からの繰越事業や郡上市北部斎苑、郡上市産業プラザなどの大規模事業により増加しています。）

▼市債残高（借入金残高）…合併時から平成17年度までは増加し、最大で984億8千万円でした。新年度における残高見込は627億5千万円となりますので、14年間でピーク時の36.3%を減額しました。今後も借入残高を減らす努力を継続します。

▼公債費（返済金）の推移…繰上償還を平成24年度に約10億円、平成25年度には約8億円、平成26年度は約3億円行ったため公債費が多くなっていますが、実質的には平成20年度の93億円がピークで、今年度の当初予算では78億円となっています。平成27年度、平成28年度にも約6億円の繰上償還を実施しており、公債費は徐々に減少する見込です。



一般会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
市債	70.8	68.6	58.5	46.3	38.4	31.5	33.4	38.7	42.3	34.0	28.4	28.9	28.8	23.5	45.3	48.7	25.0
公債費	52.1	59.8	55.1	58.1	61.5	60.9	59.3	62.0	58.2	66.6	62.6	55.5	57.0	53.8	45.0	42.6	40.7
うち元金分	42.6	50.3	46.2	49.1	52.6	52.4	51.3	54.5	51.1	60.1	56.9	50.5	52.6	50.2	42.2	40.3	38.6
うち利子分	9.5	9.6	9.0	9.1	9.0	8.5	8.0	7.5	7.1	6.5	5.7	5.0	4.3	3.6	2.8	2.4	2.1
市債残高	509.4	526.1	538.4	535.6	526.3	505.4	487.5	471.7	462.9	436.8	408.4	386.8	362.9	336.2	339.4	347.8	334.2

特別会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
市債	25.2	18.6	14.8	14.3	15.4	6.9	4.7	5.7	6.9	9.7	9.6	14.2	10.9	14.8	7.1	10.6	6.1
公債費	10.9	17.4	19.1	22.0	23.2	27.3	28.1	22.6	22.4	22.8	21.4	19.9	19.9	20.4	21.3	15.9	16.0
うち元金分	8.7	10.7	12.2	15.0	16.3	20.4	21.6	16.6	16.6	17.2	16.0	14.7	14.9	15.6	16.9	12.7	13.1
うち利子分	2.2	6.7	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	6.0	5.8	5.6	5.4	5.2	5.0	4.7	4.5	3.2	3.0
市債残高	326.6	334.5	337.2	336.4	334.2	320.7	303.9	292.9	283.3	275.9	269.5	269.1	265.2	264.4	254.6	177.0	170.0

企業会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
市債	0.0	11.1	44.6	3.9	0.5	0.3	0.2	0.0	0.8	1.1	2.6	0.9	0.4	0.9	0.9	2.8	2.3
公債費	3.9	4.6	4.1	12.5	4.9	4.8	5.1	5.5	5.9	5.8	6.1	6.6	6.7	6.8	6.8	13.1	21.2
うち元金分	2.3	2.9	2.5	10.0	2.6	2.5	2.9	3.4	3.8	3.8	4.3	4.8	5.1	5.2	5.3	10.7	10.9
うち利子分	1.6	1.7	1.6	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	2.4	10.3
市債残高	59.0	67.1	109.2	103.1	97.5	95.3	92.6	89.2	86.2	83.4	81.8	77.7	73.1	68.7	64.4	131.9	123.3

合計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
市債	95.9	98.3	117.9	64.5	54.3	38.8	38.4	44.4	50.0	44.9	40.7	44.0	40.1	39.2	53.3	62.1	33.5
公債費	66.9	81.9	78.4	92.6	89.6	93.0	92.5	90.1	86.5	95.2	90.1	82.0	83.6	81.0	73.1	71.6	78.0
うち元金分	53.6	63.9	60.8	74.1	71.5	75.4	75.8	74.5	71.5	81.0	77.0	69.9	72.6	71.1	64.3	63.6	62.6
うち利子分	13.3	18.0	17.6	18.5	18.2	17.6	16.7	15.6	15.0	14.1	13.0	12.0	11.0	10.0	8.8	7.9	15.3
市債残高	895.0	927.7	984.8	975.2	957.9	921.3	883.9	853.9	832.4	796.1	759.7	733.6	701.2	669.3	658.3	656.7	627.5

※市債、公債費、市債残高の平成29年度以前は決算の数値です。

※数値は端数調整により、合計額と合わない場合があります。

※平成30年度、31年度の数字は、今後の決算や補正予算によって変わることがあります。

※平成30年度以降の市債残高は会計統合後の残高となります。

※(ケーブルテレビ事業特別会計は一般会計へ統合、

簡易水道事業特別会計は水道事業会計へ統合)

決算 当初
見込 予算

平成31年度 当初予算 全会計一覧

会 計	平成31年度予算額	平成30年度予算額	増減率 (%)	予算の内容	
一 般 会 計	280億4,200万円	281億7,700万円	▲0.5	基礎的な行政サービスに	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	47億3,631万円	46億3,990万円	2.1	国民健康保険の運営に
	国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	4億5,106万円	4億7,007万円	▲4.0	高鷲・和良診療所、和良歯科診療所の運営に
	下水道事業特別会計	25億 895万円	23億9,855万円	4.6	下水処理や下水道工事に
	介護保険特別会計	43億8,449万円	43億4,404万円	0.9	介護保険の運営に
	介護サービス事業特別会計	7億 248万円	7億3,841万円	▲4.9	郡上偕楽園特別養護施設の運営と白鳥病院などで行う介護サービスの運営に
	駐車場事業特別会計	767万円	410万円	87.1	市営駐車場の管理運営に
	宅地開発特別会計	760万円	573万円	32.5	分譲地の販売及び経費に
	青少年育英奨学資金貸付特別会計	3,623万円	4,054万円	▲10.6	就学の支援に
	鉄道経営対策事業基金特別会計	88万円	88万円	▲0.3	長良川鉄道の経営安定などに
	後期高齢者医療特別会計	6億 87万円	5億9,470万円	1.0	高齢者の医療に
	小水力発電事業特別会計	3,262万円	3,203万円	1.9	小水力発電施設の管理運営に
	工業団地事業特別会計	2億1,470万円	3億5,410万円	▲39.4	工業団地の造成に
	大和財産区特別会計	1,400万円	1,200万円	16.7	財産区有林の育成に
	白鳥財産区特別会計	849万円	835万円	1.6	財産区有林の育成に
	牛道財産区特別会計	1,394万円	1,533万円	▲9.1	財産区有林の育成に
	石徹白財産区特別会計	3,401万円	3,832万円	▲11.3	財産区有林の育成に
	高鷲財産区特別会計	4,191万円	3,849万円	8.9	財産区有林の育成に
	下川財産区特別会計	538万円	505万円	6.5	財産区有林の育成に
	明宝財産区特別会計	1,900万円	2,670万円	▲28.8	財産区有林の育成に
和良財産区特別会計	1,529万円	985万円	55.2	財産区有林の育成に	
特別会計 計	138億3,586万円	137億7,715万円	0.4		
企 業 会 計	水道事業会計 (収益)	12億5,066万円	12億6,912万円	▲1.5	上水道の供給や上水道工事に
		(資本)	8億8,201万円	10億1,895万円	
	病院事業会計 (収益)	44億7,143万円	43億5,163万円	2.8	市民病院、白鳥病院の運営に
		(資本)	6億3,677万円	7億9,042万円	
企業会計 計	72億4,087万円	74億3,011万円	▲2.5		
総 額	491億1,873万円	493億8,426万円	▲0.5		

※各会計の合計額、増減率は四捨五入により合わない場合があります。